

1年 技術・家庭科(家庭分野) シラバス

1. 技術・家庭科の目標

生活の営みに係わる見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造する資質・能力を育む。

2. 家庭分野で重視することがら

- ① 生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともにそれらに係わる技能を身につける。
- ② 家族・家庭や地域における生活の中から問題をみだし、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- ③ 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、創造する。

3. 学力を向上させる方法

- (1) 生活を見つめ、問題を見つけよう
 - ・普段の生活の中から「知りたい・くふうしたい・やってみたい」ことを見つけましょう。
 - ・生活の中で「なぜだろう・どうしたらよいだろう」ということを見つけましょう。
- (2) 調べてみよう・やってみよう
 - ・自分の考えを形にしてみましょう。
 - ・計画を立て、用具や材料を準備し、安全に気をつけて実行しましょう。
- (3) 生活に生かそう
 - ・学んだことを生活の中で生かしましょう。

4. 評価の観点

次の3つの観点から評価します。

評価の観点	観点の内容	評価の方法
①生活に関する知識や技能	・安全で快適な室内環境の整備と住まい方に必要な技術を身につけている。 ・家族や家庭の基本的な機能を理解している。 ・安全で快適な室内環境の整備と住まい方に必要な知識を身に付けている。 ・自分の食生活を見直し、改善することができる。 ・栄養素の種類と働きについて理解している。	定期テスト ワークシートなどの提出物
②生活を工夫して考え、思考し、判断、表現する能力	・より良い家族関係を築くための工夫を考えている。 ・家族構成に応じた住まいの工夫を考えている。 ・住生活について見直し、室内環境の整備や住まい方について課題を見つけ、解決をめざして工夫している。 ・食生活を見直し、中学生の栄養と食事に関する課題を見つけ、その解決をめざして食生活の工夫ができる。 ・食事の取り方について課題を見つけ、解決できるような献立を工夫できる。	ワークシート、作品などの提出物
③生活に関して主体的に学習に取り組む態度	・家族と社会との関連、家族関係について関心をもち、意欲的に学習活動に取り組み、家庭生活をよりよくしようとしている。 ・自分の住・食生活について振り返り、問題点に気づき、生活の改善や楽しい生活ができるように努めている。	ワークシート、作品などの提出物 授業への取り組み方

5. 家庭学習の仕方

- ・「どうしても便利になるだろう、生活しやすくなるだろう」と普段の生活に興味関心をもって、生活しましょう。
- ・学んだ知識や技術を家庭や学校などの生活で生かしましょう。
(自分が過ごしやすくなるよう室内環境を整える、献立や食生活に関わることを実践してみる)

6. 年間学習予定

学期	単 元 名	学習のポイント
2 学 期 後半	「家族・家庭や地域との関わり」 ・家族の協力と家族関係 「住生活の自立」 ・住まいのはたらき ・健康で安全な住まい ・住まいと地域	自分と家族 ・自分の家族やどんな家族の形があるか調べる。 ・家庭のはたらきを知る。 ・自分と家族の関係を考える。 安全で快適な住まい ・住居の役割・機能を知る。 ・安全で快適な室内環境の整え方を知り、生活に生かせるようにする。 ・快適に住むための住まい方を工夫する。 ・自然エネルギーを有効利用した住まい方について考える。
3 学 期	「食生活の自立」 ・中学生に必要な栄養 ・食生活を自分の手で 「衣生活の自立」 ・生活を豊かにする布を用いた物の製作	中学生の食生活と栄養 ・食事の役割や、健康と食事の関わりがわかる。 ・中学生の栄養の特徴がわかり、自分の食生活に生かせることができる。 ・食品を食品群に分類することができる。 ・食品の栄養的な特徴や調理警句の要点がわかり、1日分の献立を工夫できる。 ・ ・裁縫の基礎的な技能を理解し安全で効率よく、布を用いた物の製作をする。

2年 技術・家庭科(家庭分野) シラバス

1. 中学校家庭科の目標

生活の営みに係わる見方・考え方
や技術の見方・考え方を働かせ、生
活や技術に関する実践的・体験的な
活動を通して、よりよい生活の実現
や持続可能な社会の構築に向けて、
生活を工夫し、創造する資質・能力を
育む。

2. 家庭科で重視することがら

- ① 生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともにそれらに係
わる技能を身につける。
- ② 家族・家庭や地域における生活の中から問題をみだし、これ
からの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- ③ 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、
生活を工夫し、創造する。

3. 力を向上させる方法

- (1) 生活を見つめ、問題を見つけよう
 - ・普段の生活の中から「知りたい・くふうしたい・やってみたい」ことを見つけましょう。
 - ・生活の中で「なぜだろう・どうしたらよいだろう」ということを見つけましょう。
- (2) 調べてみよう・やってみよう
 - ・自分の考えを形にしてみましょう。
 - ・計画を立て、用具や材料を準備し、安全に気をつけて実行しましょう。
- (3) 生活に生かそう
 - ・学んだことを生活の中で生かしましょう。

4. 評価の観点

次の3つの観点から評価します。

評価の観点	観点の内容	評価の方法
①生活に関する知識 や技能	・食品の選択と簡単な日常食の調理に必要な基礎的な知識を 身につけている。 ・日本や自分の食生活の課題がわかる。 ・地域で食べられている料理や食材がわかる。 ・安全や衛生に気をつけて食品や料理器具を適切に扱うことが できる。 ・衣服材料を理解し状態に応じた手入れができる。 ・安全で能率よく布を用いたものの製作ができる。	定期テスト・小テスト ワークシートなどの提出物 技能テスト ワークシート・作品などの 提出物
②生活を工夫して考え 思考し、判断、表現す る能力	・食品の選択と簡単な調理について、学んだことを活用して、自 分の食生活を工夫できる。 ・食生活の問題点を解決できるように献立の工夫ができる ・TPOに応じた衣服の組み合わせが工夫できる。	ワークシート・作品などの 提出物
③生活に関して主体的 に学習に取り組む態度	・食品の選択と日常食の調理について関心をもち、意欲的に学 習活動に取り組み、より豊かな食生活にしようとしている。 ・衣服について関心をもち、衣服の活用や手入れなど、よりよ い生活を実践しようとしている。	ワークシート・作品などの 提出物 授業への取り組み方

5. 家庭学習の仕方

- ・「どうしても便利になるだろう、生活しやすくなるだろう」と普段の生活に興味関心をもって、生活しましょう。
- ・学んだ知識や技術を家庭や学校などの生活で生かしましょう。
(学校の調理実習でやったことを家庭でも行い、おうちの人にも試食していただきましょう。ボタンつけやまつり縫いなど衣服の手入れも自分で行うようにしましょう)

6. 年間学習予定

学期	単 元 名	学習のポイント
1 学 期	「食生活と自立」 ・楽しく豊かに食べる ・これからの食生活	食品の選択と調理 ・用途に応じた食品の選択や保存をすることができる。 ・肉、魚、野菜の調理上の性質についてわかる。 ・安全や衛生に気をつけながら、魚や肉・野菜を使って、日常食の食事の調理ができる。 ・焼く、煮る、蒸すなどの調理方法を使い調理ができる。 これからの食生活 ・自分の食生活を見直し、問題点を見つけ、それを改善できる方法や調理を調べる。 ・自分の食卓から、現代の食生活上の問題点や解決策を考えられる 地域の食材とその調理 ・季節の行事食や伝統的な日常食として、地域で食べられている料理には、どんな物があるか、また使われている食材について調べる
2 学 期 前半	「衣生活・住生活と自立」 ・自分らしく清潔に着る ・布を用いたものの製作	日常着の活用と手入れ ・衣服のはたらきを知る。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れをすることができる。 ・日常着の適切な選択ができる。 衣生活を豊かにするために ・衣服の補修ができる。 ・まつり縫いやスナップボタン付けをすることができる。 ・布を用いた簡単な衣服や小物を製作する。 ・自分や家族の衣生活をさらに豊かにするための工夫を考える。

3年 技術・家庭科(家庭分野) シラバス

1. 中学校家庭科の目標

生活の営みに係わる見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造する資質・能力を育む。

2. 家庭科で重視することがら

- ① 生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともにそれらに係わる技能を身につける。
- ② 家族・家庭や地域における生活の中から問題をみいだし、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- ③ 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、創造する。

3. 力を向上させる方法

- (1) 生活を見つめ、問題を見つけよう
 - ・普段の生活の中から「知りたい・くふうしたい・やってみたい」ことを見つけましょう。
 - ・生活の中で「なぜだろう・どうしたらよいだろう」ということを見つけましょう。
- (2) 調べてみよう・やってみよう
 - ・自分の考えを形にしてみましょう。
 - ・計画を立て、用具や材料を準備し、安全に気をつけて実行しましょう。
- (3) 生活に生かそう
 - ・学んだことを生活の中で生かしましょう。

4. 評価の観点

次の4つの観点から評価します。

評価の観点	観点の内容	評価の方法
①生活に関する知識や技能	・幼児についての理解を深めるとともに、幼児の生活に役立つものの製作に必要な基礎的な知識を身につけている。 ・幼児と適切に関わるために必要な知識を身につけている。 ・幼児の生活に役立つものの計画を立てて、製作できる。 ・幼児と適切に関わることができる。 ・支払い、購入方法など消費に関わる知識を理解している。	ワークシートなどの提出物 授業への取り組み方 定期テスト・小テスト ワークシートなどの提出物
②生活を工夫して考え、思考し、判断、表現する能力	・幼児の生活に役立つものの製作において、幼児の心身の発達の特性に応じて、工夫している。 ・消費行動において、問題や状況に応じて工夫している。	ワークシート、作品などの提出物
③生活に関して主体的に学習に取り組む態度	・幼児の生活と幼児とのふれあいについて関心をもち、主体的に学習活動に取り組み、幼児と適切に関わっていこうとしている。 ・幼児の生活に役立つ物の製作に意欲的に取り組み、進んで知識や技術を活用しようとしている。	ワークシート、作品などの提出物

5. 家庭学習の仕方

- ・「どうしたら便利になるだろう、生活しやすくなるだろう」と普段の生活に興味関心をもって、生活しましょう。
- ・学んだ知識や技術を家庭や学校などの生活で生かしましょう。
(幼児や高齢者の方が暮らしやすい生活を工夫してみましょう。)

6. 年間学習予定

学期	単 元 名	学習のポイント
1 学 期	「家族・家庭と子どもの成長」 ・中学生になるまで	わたしの成長と家族や周囲の人びと ・中学生になるまでの自分の成長を振り返り、自分が多くの人と関わってきたことに気づくことができる。
	・幼児の生活と遊び	・幼児にとっての遊びの役割がわかる。 ・おもちゃの役割、遊びを支える環境について考えることができる。 ・遊びの変化と成長の関わり方がわかる。
2 学 期	・幼児の成長	・幼児の体や心の発達の特徴がわかる。 ・幼児が生活習慣を身につけるためにはどうしたらよいか工夫した生活を考えられる。
	・子どもと家族や周囲の人びと	・子どもと家族や地域の人びと、高齢者との関わりについて考え、生活に生かせる。 ・幼児期の大切さについて考えられる。
3 学 期	「私たちの消費生活と環境」 よりよい消費生活のために	・消費生活のしくみについて理解している。 ・自分の消費行動に関心を持ち、生活に生かせる。 ・環境に配慮した消費行動をすることができる。 ・消費者の権利と責任を知り、消費者の自覚を持って生活することができる。
	・まとめ 生活の課題と実践	・中学校 家庭分野の学習を振り返り、今後の生活に生かすことができる。